

| | | | |
|--------------------------|---|--------------------|--|
| 授業科目名 | 子どもの保健 | 担当教員名 | 米澤 慶子 |
| 科目区分 | 教職・保育に関する科目 | 施行規則に定める 科目区分 等 | 保育の対象の理解に関する科目 |
| 必修・選択/単位数 | 必修 / 2単位 (30時間) | 授業方法/担当形態 | 講義 / 単独 |
| 開講学年/学期 | 1年 前期 (1-2期) / 年間開講数 2講座 | 特記事項 | ※実務経験のある教員等による授業 看護教員、看護師として長年にわたる実務経験を活かして、実例を多く取り上げて授業を行っている。 |
| 授業の概要 及び 全体目標 | この授業では、子どもの身体的ならびに精神的な発達を理解し、安心安全な保育環境を保つための 予防方法や、子どもがかかりやすい疾患について理解します。 保育における組織での取り組みや連携および母子保健対策について学びます。 | | |
| 到達目標 | ① 子どもの健康増進のための保健活動および子どもの発育・発達と健康について理解します ② 子どもの疾病とその予防および対処方法について理解し、安全な保育環境を維持するための 衛生管理、安全管理の重要性について理解します。 | | |
| テキスト | 「保育者・養護教諭を目指す人のための 子どもの保健―健康と安全― 第2版補訂版」監修：大澤真木子 編集：小國美也子 (へるす出版) | | |
| 参考書・ 参考資料等 | 「系統看護学講座 小児看護学―小児看護学概論、小児臨床看護各論」(医学書院) 「子どもの保健 子どもの健康と安全」(ななみ書房) | | |
| 成績評価の方法 | ・内容の理解度 : 小テスト 70%+ 理解度確認(チェック) 10% ・学習への興味 : 関心・表現力など(レポート、指導案等も含む) 20% | | |
| 授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等 | 授業で使用するテキストを事前に読んでから授業に臨んでください。予習復習に必要な時間は1時間程度です。 | | |
| 授業計画 | 授業の内容 | 到達目標番号 | |
| 第1回 | 子どもの健康と保健の意義 | ①,② | |
| 第2回 | 児童虐待防止法など | ①,② | |
| 第3回 | 身体発育と生理機能、成長の評価 | ①,② | |
| 第4回 | 排泄機能の発達、免疫、睡眠、粗大と微細運動、運動機能 | ①,② | |
| 第5回 | 探索操作・言語機能・社会性の発達 発達障害児への関わり | ①,② | |
| 第6回 | 妊婦の栄養 葉酸 母乳栄養 | ①,② | |
| 第7回 | 小テスト・離乳の進め方 乳児期の栄養上の問題点 | ①,② | |
| 第8回 | 体温 脈拍 呼吸 パーセンタイル値 乳児身体発育曲線 免疫 | ①,② | |
| 第9回 | 呼吸器系疾患など 子どもの疾病の予防と適切な対応 | ①,② | |
| 第10回 | 消化器系疾患など 子どもの疾病の予防と適切な対応 | ①,② | |
| 第11回 | 皮膚系疾患など 子どもの疾病の予適切な対応 | ①,② | |
| 第12回 | 感染症 子どもの疾病の予防と適切な対応 | ①,② | |
| 第13回 | 小テスト ワーク① 子どもの成長発達を考える | ①,② | |
| 第14回 | ワーク② 子どもの成長発達を援助する | ①,② | |
| 第15回 | ワーク③ 子どもの成長発達の援助を実践する | ①,② | |